

報告書〔5〕 分析結果及びフローシート

スチレン 2 量体

[5 . 1,3-ジフェニルプロパン 6 . cis-1,2-ジフェニルシクロブタン 7 . trans-1,2-ジフェニルシクロブタン 8 . 2,4-ジフェニル-1-ブテン]

スチレン 3 量体

[9 . 2,4,6-トリフェニル-1-ヘキセン 10 . 1-フェニル-4-(1'-フェニルエチル)テトラリン 11 . 1,3,5-トリフェニルシクロヘキサン]

分析実施機関名	整理番号 *	*	*	国際的な認証の取得	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO/IEC 17025 (カ1 25) 4 . なし
分析主担当者名	*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績 (検体数)	検体

種類	分析項目	注1) 分析結果 (µg/l)	標準偏差 (µg/l)	測定回数 (回)
スチレン 2 量体	1,3-ジフェニルプロパン	⑤	⑥	⑦
	cis-1,2-ジフェニルシクロブタン	⑧	⑨	⑩
	trans-1,2-ジフェニルシクロブタン	⑪	⑫	⑬
	2,4-ジフェニル-1-ブテン	⑭	⑮	⑯
スチレン 3 量体	2,4,6-トリフェニル-1-ヘキセン	⑰	⑱	⑲
	1-フェニル-4-(1'-フェニルエチル)テトラリン	㉔	㉕	㉖
	1,3,5-トリフェニルシクロヘキサン	㉗	㉘	㉙

分析開始日	Ⓔ 月 日
分析終了日	Ⓕ 月 日

< 分析法等 >

分析法	Ⓖ 1 . 溶媒抽出-GC/MS 2 . 固相抽出-GC/MS 3 . その他 ()
クリーンアップ	Ⓗ 1 . シリカゲルカラムクロマトグラフィー 2 . フリクションカラムクロマトグラフィー 3 . その他 () 4 . 実施しない
試料量	Ⓙ () ml
最終定容量 注2)	Ⓚ () ml
濃縮方法	Ⓛ 1 . KD 2 . ロータリーエバポレーター 3 . その他 ()

注2) 測定用試料液の量を記入する。

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。また、実施要領5(1)の希釈方法に従って調製した分析試料中の濃度を記入する。
なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受付ませんので記入間違いや単位間違い等に注意してください。

< 溶媒抽出条件 >

抽出溶媒の種類	Ⓜ 1 . ヘキサン 2 . その他 ()
抽出回数	Ⓝ () 回
溶媒量	Ⓞ () ml / 回

< 固相抽出条件 >

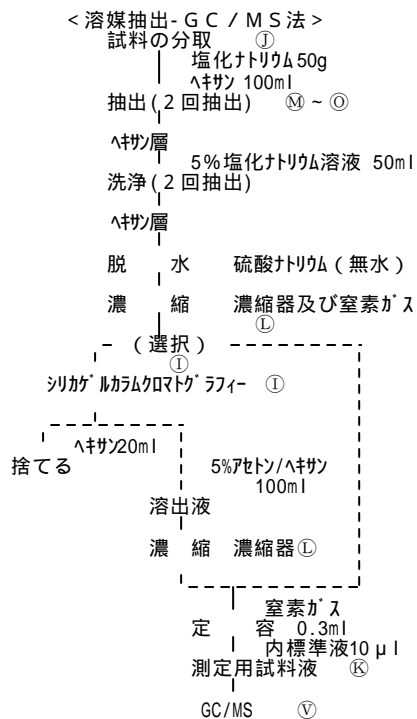
固相の種類	Ⓟ 1 . カラム型 2 . ディスク型
充てん剤 種類	Ⓠ 1 . C18系 2 . ポリスチレン系 3 . ポリメタクリレート系 4 . その他 ()
粒径 量	Ⓡ () µm Ⓢ () g
溶出溶媒 種類 量	Ⓣ 1 . 酢酸メチル 2 . メタノール 3 . 酢酸メチル/メタノール 4 . その他 () Ⓤ () ml

< 分析条件 >

注入量	Ⓡ () µl
機器型式 (GC)	メーカー () 型式 ()
機器型式 (MS)	メーカー () 型式 ()
装置型式	Ⓜ 1 . 単収束 2 . 二重収束 3 . 四重極 4 . イオントラップ 5 . その他
イオン検出法	Ⓝ 1 . SIM法 2 . マスクドイオン法 3 . その他 ()
イオン化法	Ⓨ 1 . EI 2 . NCI 3 . その他 () 2 . の場合 反応ガス: Ⓩ 1 . メタン 2 . イソブタン 3 . その他 ()
測定時のMS分解能	ⓐ ()
カラム型式	メーカー () 型式 ()
カラム形状	Ⓡ 内径 () mm Ⓢ 長さ () m Ⓣ 膜厚 () µm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	Ⓟ 1 . N ₂ 2 . He 3 . その他 () Ⓠ () ml/分
試料注入部温度	Ⓡ ()
試料注入方法	Ⓡ 1 . スプリット 2 . スプリットレス 3 . コールドオンカラム

< 検量線の作成等 >

サロゲートの使用	Ⓡ 1 . 使用する 2 . 使用しない 1 . の場合: サロゲート: Ⓡ種類 ()、Ⓢ添加量 () ng
定量方法	Ⓡ 1 . 絶対検量線法 2 . 標準添加法 3 . 内標準法 3 . の場合: 内標準物質: Ⓣ種類 ()、Ⓤ添加量 () ng
[サロゲート及び内標準物質の種類リスト] 1 . 1,2-ジフェニルエタン-d ₄ 2 . ナフタレン-d ₈ 3 . フルオレン-d ₁₀ 4 . フェナントレン-d ₁₀ 5 . p-ターフェニル-d ₄ 6 . HCB- ¹³ C ₆ 7 . その他 ()	
試薬 (標準原液)	Ⓡ 1 . 購入 2 . 自作 1 . の場合メーカー ()



報告書〔5〕(つづき)

整理番号	*	*	*
------	---	---	---

<測定質量数及び検出下限値>

種類	項目	質量数	検出限界 (μg/l) 注1)
スチレン 2量体	1,3-ジフェニルプロパン		
	cis-1,2-ジフェニルプロパン		
	trans-1,2-ジフェニルプロパン		
	2,4-ジフェニル-1-ブテン		
スチレン 3量体	2,4,6-トリフェニル-1-ヘキセン		
	1-フェニル-4-(1'-フェニルエチル)テトラリン		
	1,3,5-トリフェニルシクロヘキサゲン		

注1) 試料中の濃度を示す。

<検量線の作成等>

種類	項目	区分	記入欄
スチレン 2量体	1,3-ジフェニルプロパン	検量線	作成点数 () 範囲 ② () ~ () 注2) 単位 1 . ng(注入量) 2 . μg/ml(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ()
		試料液	ピーク高又は指示値 ()
		ブランク	ピーク高又は指示値 ()
	cis-1,2-ジフェニルプロパン	検量線	作成点数 () 範囲 ② () ~ () 注2) 単位 1 . ng(注入量) 2 . μg/ml(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ()
		試料液	ピーク高又は指示値 ()
		ブランク	ピーク高又は指示値 ()
	trans-1,2-ジフェニルプロパン	検量線	作成点数 () 範囲 ② () ~ () 注2) 単位 1 . ng(注入量) 2 . μg/ml(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ()
		試料液	ピーク高又は指示値 ()
		ブランク	ピーク高又は指示値 ()
	2,4-ジフェニル-1-ブテン	検量線	作成点数 () 範囲 ② () ~ () 注2) 単位 1 . ng(注入量) 2 . μg/ml(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ()
		試料液	ピーク高又は指示値 ()
		ブランク	ピーク高又は指示値 ()
スチレン 3量体	2,4,6-トリフェニル-1-ヘキセン	検量線	作成点数 () 範囲 ② () ~ () 注2) 単位 1 . ng(注入量) 2 . μg/ml(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ()
		試料液	ピーク高又は指示値 ()
		ブランク	ピーク高又は指示値 ()
	1-フェニル-4-(1'-フェニルエチル)テトラリン	検量線	作成点数 () 範囲 ② () ~ () 注2) 単位 1 . ng(注入量) 2 . μg/ml(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ()
		試料液	ピーク高又は指示値 ()
		ブランク	ピーク高又は指示値 ()
	1,3,5-トリフェニルシクロヘキサゲン	検量線	作成点数 () 範囲 ② () ~ () 注2) 単位 1 . ng(注入量) 2 . μg/ml(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ()
		試料液	ピーク高又は指示値 ()
		ブランク	ピーク高又は指示値 ()

注2) GC/MSに注入する量又はGC/MSに注入する溶液中の濃度を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料液の調製について	-----
測定方法について	-----
分析全般について	-----